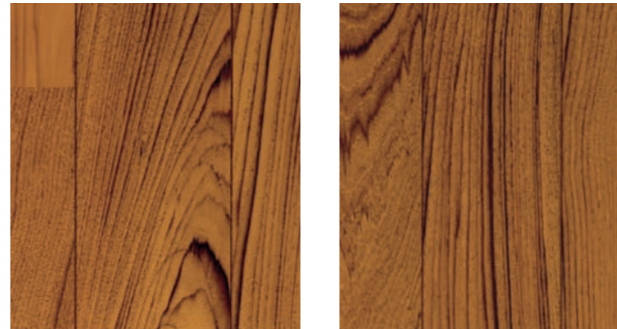




## Characters

キャラクター  
本物だから現れる数々のキャラクター  
縞の表情



材色の濃淡



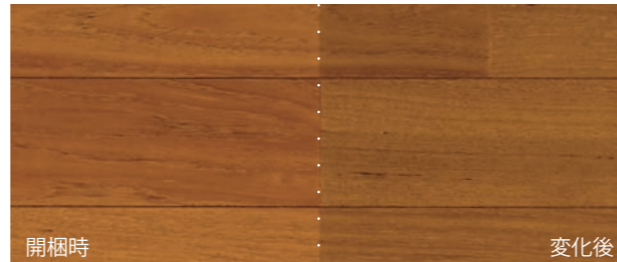
ガムストリーク

ノット

ノット



経時変化



時間の経過とともに太陽光の影響を受けて色合いが変化しています。

### ■ノット

枝の付け根部分が幹に包み込まれてできる(節)。

### ■ガムストリーク

樹液の中に鉱物質などの異物が混入した痕跡。

### ■経年変化

天然木は時間経過とともに変色します。チークは特にその変化が顕著です。変化度合いは太陽光をうける条件により一定ではありません。上の写真は開発研究所での実験サンプルの例です。

## Teak チーク

上品な色合い、そして時には重厚感さえ感じさせる個性を放つライブナチュラル・リミテッド「チーク」。チークは、美しさと耐久性を併せ持つとともに、非常に材質が安定しており、ほとんど狂いを生じないという特徴を持ちます。そのため遙か古代から家具として活用され、ピラミッドや古代バビロニアの遺跡からも、チークの家具が見つかっています。豪華客船クイーンエリザベス2世号のデッキにも採用されたり、ベルサイユ宮殿を飾る家具やオリエント急行の内装にも使われたりして、その美しさと堅牢さを存分に発揮しています。チークは、歴史上における最良材とされてきました。優美な光沢と美しい木目、そしてオイルを引いたようなしっとりとした触り心地。また、反りや割れにも強く、熱による変化も少ないという特性を持ちます。心材はあたたかみのある褐色で、辺材は黄白色。時に暗色の縞を持つこともあります。その風合いは、現代の住まいにあって、エレガントな意匠として空間を演出。共に過ごすほどに深みを増していく。「チーク」は、そんな上質の時間を感じさせます。

原産地 Place of origin



東南アジア



チークの花



## 樹種紹介

チークの良材はタイ・インド・ミャンマーなどに生息しています。その中で丸太で入手可能な国はミャンマーになります。ところで質の良いチークは我々の手元に届くまで7年以上の月日が必要になる場合があることをご存じでしょうか。その訳は、産地でいい材があれば、まず巻枯らしを2~3年行い、その後、伐採して象に川のある場所まで運ばせます。この象に運ばせる際のロープ穴はエレファントホールと言われ、実際にチークの丸太で見受けられます。そして、川で筏に組まれ港までに3~4年かかるため最終的に約7年という長い年月がかかってしまうのです。このように大切に扱われることがあるチークに「木の宝石」という異名が付くのも納得がいくのではないのでしょうか。



挽きたてのチークに現れた美しい縞空目。



エレファントホール